

有色袋によるブドウ「シャインマスカット」の果皮黄化およびかすり症軽減対策

有色の果実袋を使用すると果皮色の黄化とかすり症を軽減でき、果実品質には影響しない。色票値3程度を目安に収穫する。

背景・目的

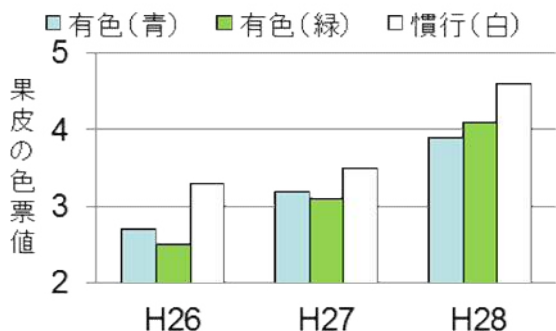
- ・ブドウ「シャインマスカット」は糖度が高く皮ごと食べられ、温暖な本県でも着色を気にせず栽培できる期待の品種で、産地への導入が進んでいる。
- ・果実の成熟に伴って果皮色が黄化しやすく、果皮が茶褐色に汚損するかすり症が発生しやすい。
- ・果皮色の黄化やかすり症の発生を軽減する技術として、有色果実袋の効果を検討する。

成果の内容

有色袋では緑黄色の濃い果房となり、果皮黄化とかすり症を軽減できる

1. 果皮の黄化の軽減効果

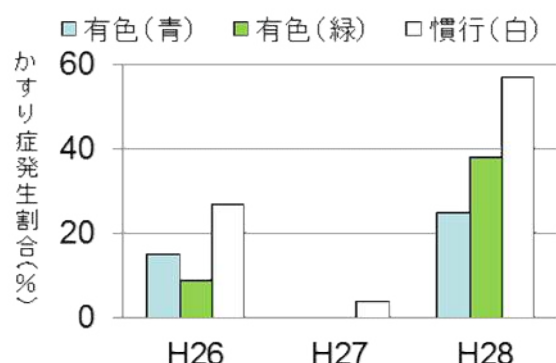
有色袋では慣行袋（白色）に比べて色票値が低く緑黄色の濃い果房となり果皮の黄化を軽減できる。



注) シャインマスカット専用カラーチャート(山梨県総合理工学研究機構製)を用い、数値が低いほど緑黄色が濃いことを表す

2. かすり症発生の軽減効果

かすり症の発生割合は年により異なるが、有色袋では慣行袋に比べていずれの年も低い。



注) 果実全体に占めるかすり症の割合を遠観で調査

3. 果実品質への影響

有色袋と慣行袋で、糖度、酒石酸ともに明らかな差はない。

期待される効果

・果皮の黄化やかすり症の発生が多い「シャインマスカット」園において、有色の果実袋を用いて果皮の黄化やかすり症の発生が軽減されることにより、商品性が向上する。

有色袋の利用により商品性が向上

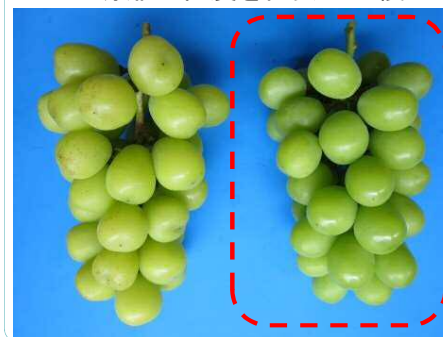
かすり症発生



有色袋の利用で発生軽減



色票値3程度を目安に収穫



果皮黄化とかすり症の発生が少ない果房が生産できる
→商品性が向上

導入メリット

普及対象・範囲
ブドウ「シャインマスカット」生産者